

しが学童保育 ニュース

2016年5月15日 発行

滋賀県学童保育連絡協議会

TEL/FAX:077-535-5519

E-Mail: shiga-gakudou@maia.eonet.ne.jp



今年度もよろしくお祈いします

今年度も県連協会長を務めさせていただく事になりました大崎です。滋賀県の学童保育が子どもたち・保護者のみなさん・指導員のみなさんにとってより良い場となるよう、微力ではありますがみなさんと共に行動していきたいと思ひます。どうぞよろしくお祈いします。

新年度が始まり1ヶ月ほど経ちました。各ご家庭・各学童保育の様子はいかがでしょう。新しく入所された子どもたちや保護者の方にとっては、緊張の1ヶ月だったことと思ひます。子どもは場に慣れるのが早いというものの、もうしばらくは緊張の日々が続く事でしょう。指導員のみなさんにとっても、気の休まらない事の連続だろうと思ひますが、子ども達の健全な発達のために力を注いで下さるようよろしくお祈いします。

さて、4月24日に滋賀県学童保育連絡協議会総会を開催いたしました。各所より指導員・保護者会役員の皆様にご出席いただき今年度の体制、活動方針等を審議いただきました。その中で、昨年立ち上げた県連協のHPについて「更新の頻度を増やさない」と県連協の動きが分からない。」とのご指摘があり、また総会後に開いた代表委員会でも活動方針や活動報告に関して「具体的に何に取り組み、その達成度がどの程度であったのかを示していく方が、県連協の動きが見えてくる。」といったご意見もいただきました。会員の皆様に分かりやすく示していくことを心掛けていきたいと思ひます。

例年より手狭な会場しか確保できず、出席いただいた方々にご迷惑をおかけした事をこの場を借りてお詫びします。申し訳ありませんでした。

滋賀県学童保育連絡協議会会長 大崎 智

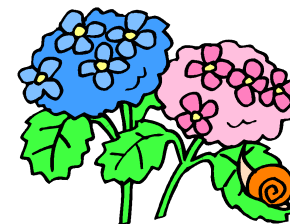


全国学童保育指導員学校(奈良会場)へ参加しましょう!

第41回全国学童保育指導員学校(西日本・奈良会場)は、6月5日(日)10:00~16:15奈良県生駒市で開催されます。(リーフレット参照) 午前の全体会は生駒市たけまるホールで午前10時に開始、基調報告に引き続き、福井雅英先生(滋賀県立大学)が、全体講義をされます。

「子どもの成長に伴走する学童保育」

—子ども理解のカンファレンスと発達援助の仕事—



午後の講座の会場は、たけまるホール他4カ所の会場へ分かれて行われます。電車で移動しなければならない会場もあります。ご不便ですがご了承ください。

奈良県連協が配付している一覧表案(講座、教室、人数など)を 指導員の皆さんには、ニュースの裏面に貼り付けるか、もしくは別紙でお知らせします。参考にして講座を選んでください。

※詳細は裏面参照

実践の質を高めるためには、指導員の配置基準や雇用に関する条件整備とともに、自発的・主体的・継続的な研修の充実も欠かせません。この課題に応えるために全国学童保育連絡協議会は、全国学童保育指導員学校の開催地を広げると同時に、指導員が学童保育のあり方を深めるため、より魅力ある内容づくりに取り組んできました。

指導員学校への参加を地域の指導員集団で積極的に取り組みましょう

◎地域の中心的な指導員、経験を積んだ指導員が率先して参加しましょう

地域の中心的な指導員および経験を積んだ指導員の方々が、積極的に参加するよう働きかけをしましょう。その際、以下のことをていねいに伝えて呼びかけましょう。

- ・全国学童保育指導員学校は「新人指導員向け」という位置づけではないこと。
- ・指導員は絶えず自らの実践を振り返り、他の実践からどん欲に学ぶ「自己研鑽」が求められる職業であること。
- ・新しい指導員のよき先輩として、率先して学んでいくこと。

◎問題意識をもって参加しましょう

受け身の姿勢で参加するのではなく、問題意識をはっきりとさせて、主体的な姿勢で参加することで研修が身につきます。その大切さをくり返し確認し、取り組みましょう。

◎誘い合って参加する気風をつくりましょう

地域の指導員集団のなかで、参加することの意義や目的、主体的な参加などを話し合い、誘い合って参加する気風をつくっていくことが大切です。

(これは全国学童保育指導員学校の参加に限らず、地域の研修会や全国学童保育研究集会などすべてに共通することといえます)

◎指導員自身の主体的な参加意識を育てましょう



※今回は全国学童保育指導員学校終了後に男性指導員交流会が計画されています。

みんなで読もう / 広めよう / 「日本の学童ほいく」1冊340円

2016年5月号で489号を迎えた『日本の学童ほいく』は全国各地の保護者と指導員など約4万人以上の人たちが年間定期購読しています。「子育て」や「子育ち」が難しい時代だと言われているいま、子育てに元気が出るおすすめの月刊誌です。

4月号から好評連載中の【講座】子どもの成長に伴走する学童保育を(7月号)には、滋賀の学童保育指導員が書いた「わたしは指導員」(2015年8月号)が取り上げられます。

ご執筆は福井雅英先生(滋賀県立大学)です。

みなさん、どうぞ、お楽しみに!

